

令和7年度

# 市政執行方針・教育行政執行方針



砂川市長  
飯澤 明彦

## 市政執行方針

### 子育てするなら砂川

これまで地域コミュニティは、世代を超えて互いに助け合い、喜びを分かち合い、人とのつながりを育む場として機能しておりましたが、人口減少や少子高齢化によって、家族関係や社会への帰属意識、結婚・出産・子育てに対する価値観、地域コミュニティへの参画意識などにも大きな変化をもたらしているように感じられます。

私がこれまで子育て支援を重点的に実施してきましたのは、子育て世代が多くの方々の皆様に、さらには市内の元気のある企業に支えられていると実感し、ふるさとに愛着を持っていただける取り組みを展開することで、将来、子どもから高齢者まで幅広く市民を支え、まちづくりを担っていく者としての自覚や機

運を醸成することにつながると考えているからであります。今後とも本市に住み続ける市民の皆様を想像しながら、必要な施策を検討し、講じてまいります。

### まちの新たなにぎわい

まちなかの活力とにぎわいの創出を目指し、工事を進めておりました駅前地区のまちなか交流施設「すないる」は、4月末にオープンいたします。世代を超えた出会いと交流が生まれ、まちの魅力を再発見し、市内の回遊促進につながることを期待しているものであり、市民に限らず、初めて本市にいられた方にも来訪いただき、施設の基本コンセプトである「賑わいと魅力を生むまちの居場所」となるよう整備を進めてまいります。

### 北電跡地利用

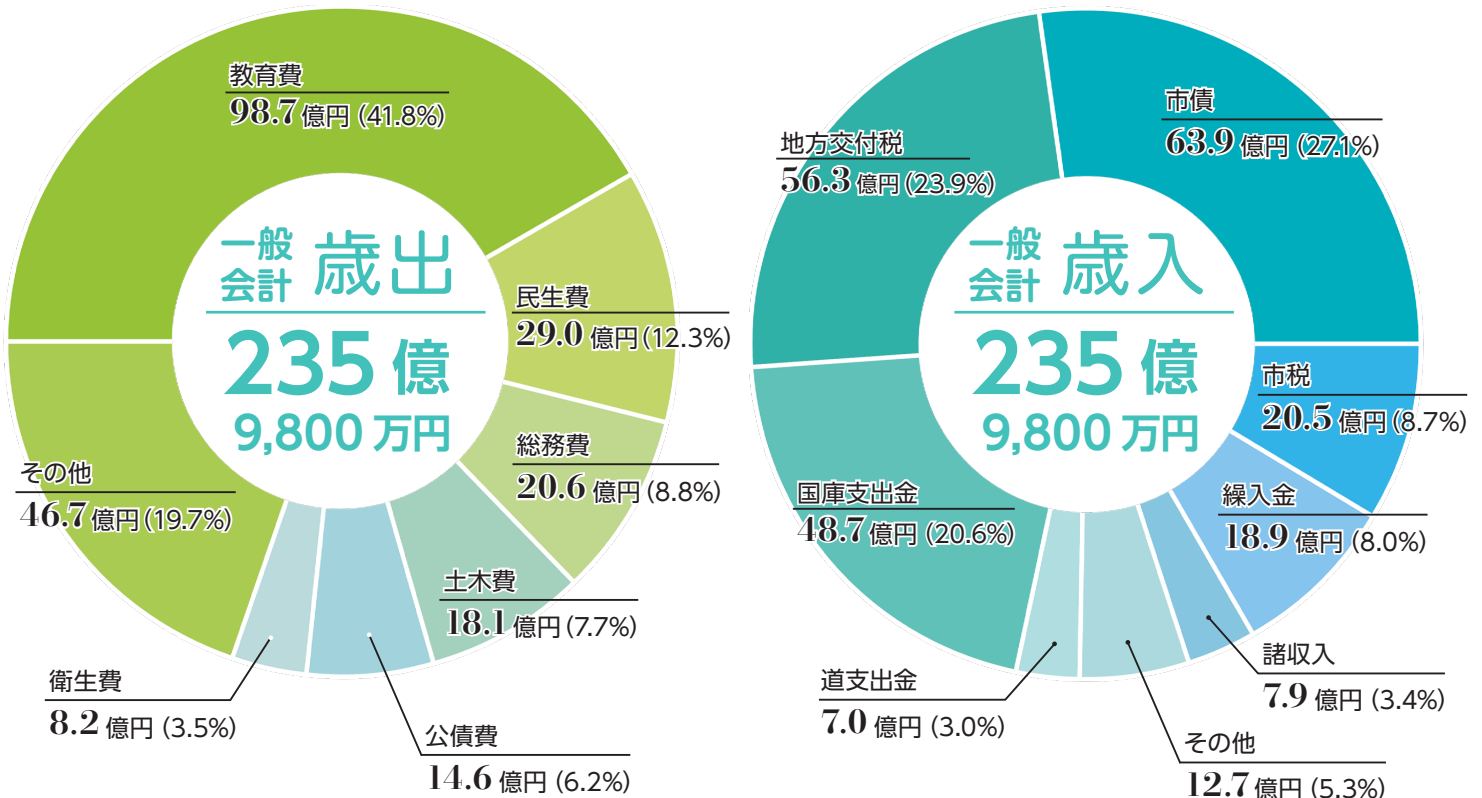
北海道電力砂川発電所の跡地利用の検討につきましては、令和9年3月に発電所が廃止となるため、これまで北電とは情報交換を重ね、一定の方向が見い出せるよう働きかけてまいりましたが、エネルギーを取り巻く世界的な環境の変化や昨今の資材・物資・人件費の高騰などにより、北電が現時点において具体的な事業計画を策定するに至らなかったことから、引き続き本市にとって最善の策となるよう北電に働きかけるほか、冬期間における安全で快適な市民生活に欠かせない流雪溝については、発電所廃止後も利用できるよう関係省庁と協議を進めてまいります。

## 令和7年度予算額

本市においては、歳入の自主財源の根幹である市税では、個人、法人ともに所得が上昇傾向にあることから増収が見込まれ、5年ぶりに20億円台を確保する状況となっております。地方交付税については、普通交付税の算定において、「こども未来戦略」の「こども・子育て支援加速化プラン」に基づく施策に関する経費が増額されたほか、物価高騰の影響による学校・福祉施設などの公共施設の光熱水費の高騰や、ごみ収集・学校給食などの公共サービスや施設の管理に関する増額経費を、包括算定経費において算定するとされたことから、前年度より増額を見込んだところであります。

物価高騰の影響や先が見通せない経済情勢の中、近年の大型建設事業および計画的に実施している施設の修繕・改修事業に伴い、本年度の一般会計は、過去最大の予算規模となっております。公債費についても、これら大型建設事業に係る市債の元金償還が始まることから、今後増加する見込みであります。引き続き安定的な歳入の確保と財政規律を遵守し、持続可能なまちづくりとなるよう各事業の推進と財政健全化の両立を目指した市政運営に取り組んでまいります。

### 一般会計



特別会計 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険) 45億 8,420万円

企業会計 (下水道事業・病院事業) 179億 4,619万円

### 乳児すこやか応援クーポン券支給事業

563万円

乳児の保護者に対して支給していた「乳児すこやか応援クーポン券」の使用期限を延長するとともに支給額を増額し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。



### 医療費負担金無料化事業 (対象:未就学児～高校生等)

2,989万円

### 学校給食費無償化事業

5,618万円



### 子ども家庭センター事業

443万円

母子保健と児童福祉の機能を一体的に運営する新たな体制として「子ども家庭センター」を開設。市役所庁舎内に保健師などの職員を配置し総合相談窓口を設置。関係機関との連携を図りながら、切れ目のない包括的な支援の実現に向けて子育て世帯などへの相談支援や情報提供に取り組みます。

### 南吉野老人憩いの家建替事業

921万円

築50年以上が経過する南吉野老人憩いの家の老朽化が著しい状況にあることから、利用する地元の10町内会から建替えの要望があり、地域におけるコミュニティ施設の必要性や今後の管理運営について協議を行い、建替えに向け実施設計、建物解体の調査をします。



### 開業医誘致等助成事業

127万円

市内における開業医が減少している状況を踏まえ、令和7年度から開始する開業医誘致等助成事業の内容を広く周知するため、北海道医師会が発行している「北海道医報」、医療関係者に広く購読されている「北海道医療新聞」へ広告を掲載し、道内の医業経営コンサルタントなどに助成事業の紹介文書を送付することで、地域医療体制の充実に向けた開業医の誘致などを促進します。



### 若年者生活習慣病予防健診事業

54万円

早期からの生活習慣病の発症予防・重症化予防につなげるため行っている健診の受診率向上のため、小学5年生と中学2年生を対象に血液型検査を追加し、自己負担額を無償化します。また、20歳から39歳までの職場などで受診機会のない被扶養者の健診、保健指導を実施します。

### 健康ポイント事業(スマホアプリ導入)

162万円

特定健診やがん検診などの対象事業に参加し、一定のポイントを取得した場合に特典と交換することで、主体的な健康づくりに対する意識の向上と健康の保持・増進を図ります。また、令和7年度よりスマホアプリを導入することで、申請手続きやポイント付与について利便性の向上を図り、本事業への関心が低い20代から50代の年齢層の方にも参加しやすい環境の整備を進めます。

### 带状疱疹予防接種事業

1,006万円

ワクチンの接種により低下した免疫力を高め、発症率の低下や発症時の症状を軽減するため、罹患するリスクが高くなる定期接種外の50歳から64歳の方について市独自に助成対象に加えて実施します。

今年度やるべきことはコレ!

活 力 に あ ふ れ 賑 わ い の あ る ま ち

商店会連合会商品券発行事業補助金

300万円

砂川商店会連合会が実施する夏・冬の売り出しにおける商品券発行経費の一部を補助します。



プレミアム商品券発行事業補助金

3,529万円

商工会議所が実施するプレミアム率30%の「プレミアム商品券」発行経費の一部を補助します。(利用期間：令和7年9月～同8年1月予定)



新規就農育成支援事業

1,711万円



担い手確保対策として、地方相談会への参加、農業体験事業の実施により新規就農へのきっかけづくりを行います。また、就農初期段階の青年就農者に対する給付金や継続事業の賃貸料補助のほか、新規就農者が購入する農業機械の購入費の一部を補助します。



駅前地区整備事業

6,984万円

まちなか交流施設の4月末オープンに向け、施設の環境整備工事や備品購入などを行うほか、リーフレットやチラシの作成、情報誌への掲載によるPR活動を行います。また、施設は商工会議所・観光協会の指定管理により管理運営を行います。

自 然 と 調 和 し た 快 適 で 住 み よ い ま ち

住み替え支援事業

1,910万円

世帯規模や住まい方の変化などに対応するため、高齢者や子育て世帯の円滑な住み替えを支援し、住み替えや移住定住の促進を図ります。「子育て支援補助金」については、子どもの年齢に応じて補助額を変更し、「子育て世帯住み替えサポート補助金」、「市内企業就労者定住促進補助金」を創設します。

ハートフル住まいる推進事業

7,750万円

「砂川市住生活基本計画」の重点プロジェクトのひとつとして掲げた「ハートフル住まいる推進事業」を継続して定住促進やまちなか居住の誘導、良質な住宅ストックの形成、地域関連企業の利用促進を図ります。また、永く住まいる住宅改修補助金、まちなか住まいる補助金、老朽住宅除却費補助金の内容、補助額を見直します。



公園施設更新事業(10公園)

5,790万円

公園施設長寿命化計画に基づき、健全度判定などで改善が必要と判断された10公園の遊具などの更新整備を行います。



・南吉野公園、新町公園、やまびこ公園、新石山公園、北光公園、日之出公園、西公園、こもれびのプラザ、流れのプラザ、オアシスパーク

## 明日へつなぐ協働と支え合いのまち

### 学校給食センター屋上防水改修工事

4,226万円

経年劣化によりルーフトレンが錆で破損し、屋上の排水機能の低下が懸念されるため、改修工事を行います。



### 空知太保育所照明LED化改修工事

561万円

照明器具のLED化を図ります。



### ふれあいセンター外壁等改修工事

6,122万円

築30年以上が経過し、老朽化した外壁などを改修し、施設の延命化・長寿命化を図ります。

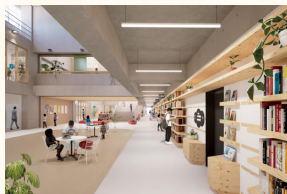


## 豊かな心と学ぶ力を育むまち

### 義務教育学校建設事業

85億6,618万円

令和8年4月の砂川学園開校に向けて、基本設計・実施設計に基づき建設工事を実施します。



### 自転車用ヘルメット購入費補助金

146万円

自転車乗車時の安全を確保することを目的に、中学校通学時のヘルメット着用を義務化することから、ヘルメット購入費の一部を補助します。

### スクールバス購入事業(5台)

1億1,947万円

令和8年4月の砂川学園開校にあたり、遠距離通学となる児童生徒の通学支援を行うため、スクールバスを5台、乗降者管理用機器などを購入します。



### 地域交流センター整備事業

1億2,615万円

開設以来17年が経過し、建物躯体や設備などに経年劣化が見られることから、館内照明設備や音響設備などの改修を計画的に行い、施設環境の整備を図ります。



### 芸術文化振興補助金

6万円

芸術文化活動の奨励や振興を図るため、芸術文化活動に係る大会などを市内で主催する団体および大会などに市を代表して出場する者などに対し、経費の一部を補助します。

# 教育行政執行方針

急速な人口減少や少子高齢化、個人の価値観やライフスタイルの多様化、国際情勢の変化などさまざまな社会的課題が存在し、さらには、生成AIの進展など、将来の予測がますます困難な時代となっています。

こうした中、教育には、子ども達の可能性を最大限に引き出し、多様な人々と協働しながらさまざまな社会的課題を解決し、持続可能な社会を創造していく「生きる力」を確実に育むとともに、多様な個性を伸ばし、豊かな人生を送ることができるようウェル・ビーイングの実現が強く求められています。

こうした社会情勢を的確に見極めながら、令和8年4月の砂川学園開校における教育活動の進展を見据え、9年間を見通した系統的な教育による学力の定着や、継続的な指導によるいわゆる「100ギャツ

プ」の緩和などが期待できるものとして、これまで実践・検証を重ねてきた小中一貫教育を本格的に実施し、学力や体力の向上、豊かな人間性のかんようなど、子ども達の「生きる力」を育みます。また、さまざまな教育課題を解決しながら学校教育の質的向上に努め、市民一人ひとりが生涯を通して主体的に学び続け、その成果と意欲が生かされる生涯学習社会の実現を目指し、市民の皆様の信頼と期待にこたえる教育行政を推進してまいります。

社会の転換期とされる現代において、市民一人ひとりが、変化を前向きに受け止めながら、わがまちの歴史や文化に対する誇りと愛着を基盤とし、幼少期から生涯にわたって学び続けることを通して、どのような困難や課題にも対応しうる「人づくり」につながる教育の実現に努めてまいります。

社会の転換期とされる現代において、市民一人ひとりが、変化を前向きに受け止めながら、わがまちの歴史や文化に対する誇りと愛着を基盤とし、幼少期から生涯にわたって学び続けることを通して、どのような困難や課題にも対応しうる「人づくり」につながる教育の実現に努めてまいります。

## 社会教育

### 生涯学習の推進

- ・学校、家庭、職場や地域で、生涯学習へ積極的に参画する体制づくりを推進し、生涯学習関係団体や企業と協働して学習に取り組みやすい環境を整備

### 公民館における学習活動の推進

- ・公民館グループ・サークルなどの学習活動の支援、高齢者等スマートフォン体験教室の実施

### 図書館を拠点とした読書活動の推進

- ・ブックスタート事業や学校図書館の支援、子どもから大人まで日常的な利用につながる図書館の魅力向上

### 青少年健全育成活動の充実

- ・あいさつ運動や小学校5校において放課後子ども教室を実施し、子ども達の安心安全な居場所づくりと地域ぐるみで見守り育てる環境を醸成
- ・学校や警察などの関係機関と情報の共有できる体制の充実

### 芸術文化活動の充実

- ・芸術文化活動における大会出場に対する補助制度の創設
- ・芸術文化団体やNPO法人ゆうと連携し、活動の支援、情報収集および発信

### スポーツ・レクリエーション活動及びスポーツ環境施設整備の推進

- ・健康増進事業やスポーツ教室などでの体育施設の利用促進
- ・海洋スポーツにおけるカヌー乗降場のスロープ整備

### 文化財の保護、郷土資料の保全・活用の充実

- ・無形民俗文化財の周知、郷土資料室特別展の開催

## 学校教育

### 確かな学力を育む教育の推進

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善を重視

### 特別支援教育の推進

- ・個々の教育的ニーズに応じた支援を行うため、特別支援教育支援員を配置

### 教育環境の充実

- ・学習者用端末を更新し機能強化を図り、デジタル教材の使用やオンライン学習などのDX化の推進
- ・蔵書管理などに対応する学校図書システムの導入
- ・交通事故の被害の軽減を図るため、中学生における自転車用ヘルメット購入費の補助

### 小中学校に係る適正配置の推進

- ・砂川学園の開校に向け、学校建設工事、スクールバスの購入・実証運行および体験乗車の実施、中学校教員の乗り入れ授業、小学校中・高学年における教科担任制の拡充、小中学校の交流事業を実施

### 豊かな心を育む教育の推進

- ・発達段階や実態に応じた適切な教育活動
- ・いじめ、不登校の問題に対する早期発見・早期対応

### 健やかな体を育む教育の推進

- ・保健体育科の授業改善、栄養教諭や家庭・地域などと連携した食に関する指導の充実

### 地域とともにある学校づくりの推進

- ・保護者連絡アプリを活用した情報のデジタル化
- ・部活動を段階的に地域へ移行する取り組み